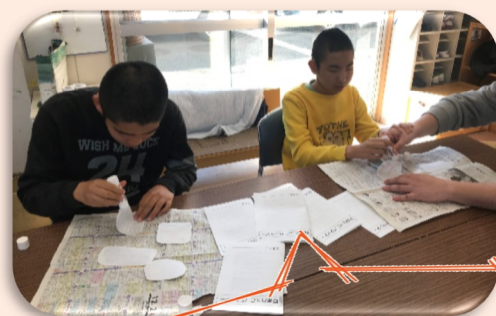


ふたかみ NEWS プチトマト

ほまれっこ

春のバスツアー

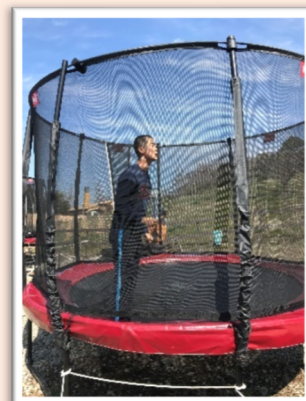


みんなでバスツアー
に向けて準備！



とってもいいお天気で元気に
楽しんできました♪♪

ハーベストの丘



About me 3 ~ “わたし”を知って~stories

2月1日から3日、ディアモール大阪で開催されました展覧会（アバウトミー）にハピバールメンバー4名が出展しました。

アバウトミーに出展される作品はその外観だけではなく、その「モノ」が出来るまでの背景、またその作者の人生を語るツールになる作品と言っても過言ではありません。

3日、ハピバールメンバーも観に行きました。お客様に自分の作品の紹介をしたり、他の作品をじっくりと観て「すごいね～」と話す仲間も居ました。日々描いている作品がいろんな方々の目に触れ、作品について語れる場は、仲間はもちろん、職員にとっても良い経験となりました。

（大西）



ハピバール

まちまるしえ

4月5日（日）10:00~16:00

場所：峰塚公園

（大阪府羽曳野市萱田4丁目1番1号）

※雨天中止※

※状況により

中止となる場合があります



4月 物品販売☆イベント

はびきの園

18日（土）葛井寺 10:00~14:00
25日（土）道明寺 10:00~14:00
22日（水）羽曳野市役所販売（24日まで）
10:30~13:30
28日（火）滝谷不動 9:00~14:00



■後援会入会及び更新の方々（敬称略）

【2019年度2月】

・田邊佑介 田邊朋子 波多江望 山田恵
・中川裕子 宮崎孝代 玉手沙恵子

.....以上4口

.....以上1口

■ボランティア であい様／畑英作様／細川直幸様／松倉和代様／垣内秀夫様

■アルミ缶回収（2月分） 540kg

ありがとうございました

◆2020年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

法人では「ハピバール」も2周年を迎え、日中事業所や相談支援、暮らしの場の充実をはかっています。皆様の引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費：1口3,000円 団体会費：1口10,000円】 郵便振替口座：00940-5-325894

社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0856 大阪府羽曳野市白鳥3-16-1 木村ビル4階 TEL 072-959-3221 FAX 072-957-1604

Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者：石本悦二 編集責任者：関口奈緒美



「羽曳野市支給決定基準」

2月25日に、羽曳野市役所にて羽曳野市地域自立支援推進会議（※1）の居宅事業所連絡会が行われました。その中で障害福祉課より、各障害福祉サービスの標準支給量の目安として、4月から開始予定の「支給決定基準」の説明がありました。

この支給決定基準は作成にあたり、昨年より羽曳野市のホームページ上でパブリックコメント（※2）を実施した上で、現在公表されています。

今まで、羽曳野市は支給決定基準を作らず、個々の状況に応じて、支給量を出すなど寛容でしたが、近年は他市と合わせてきており、利用実績や根拠を執拗に求めてきて支給量の変更を求めているなど、急激な変化が生じています。その上で肝心の自身は、訪問系サービスなどは障害支援区分の等級ごとで、支給時間が決められているサービスもあれば、全員一律の支給時間のサービスもありました。一例で挙げると、居宅介護の身体介護及び家事援助は区分4で

月30時間、区分5で月45時間、区分6で月60時間であり、同行援護や行動援護に関しては、一律月40時間です。

今回の支給決定基準では、市内の様々な事業所が、個々の状況や障害特性に考慮していないとパブリックコメントに意見を出しました。行政からはあくまで、目安であり個々の状況に勘案・検討するとし、標準支給量の2倍以上の支給量の申請があった場合は、審査会にて参加者の意見を求めるとの事でした。

ただ、本当に個々の状況を考慮し、その人に見合った支給を行政が認めるのか、そして「私たちの事を私たち抜きで考えないよう」私たちは注視していく必要があると思っています。

（※1羽曳野市における自立支援協議会）（※2行政など公的機関が規則あるいは命令などの類のものを制定しようとする時に、広く公に意見を求める手続き）

（山下）

保育・障害合同研修会

『障害のある子どもから成人期の実践について』

2月22日（土）、あいち障害者センターの近藤直子氏をお迎えし「障害のある人と共に成長するために」をテーマに長年に渡り乳幼児健診に携わってこられた経験をユーモアを交えてお話しいただきました。

お話の中で軸となっていたのは「発達と「行動変容」との違い」についてでした。

発達とは自分で自分を変えていく事「私が私らしく」いられるようにする事です。できなくなる事を一括りに「後退」いけない事」と表してよいのか？の例として出された相談は、1歳半検診時に「最近、カレーライス、それもルーとご飯を分けたものしか食べなくなってしまう困惑している」というものでした。一見困った行動と取られがちですが、それは心が育ち選択する力（主体性）がついたという事。「食べなくなった（マイナス）」と捉えるのではなく「選ぶ力を自分でつけた（プラス）」と考え、心が育つことで「できなくなる事」「マイナスを出す事」

（細田）

『きょうざれん大阪支部40周年記念に参加して』

2月24日アウィーナ大阪できょうざれん大阪支部40周年と障連協と全障研の50周年の記念式典が行われました。大阪の障害者運動は、障害者センターを拠点にしてその事務所を共有しているこの3つの団体が兄弟のように一緒になって活動してきた歴史があります。式典では、半世紀近く大阪の障害者運動を牽引し、制度を作ってきた事を確認しました。

それぞれの団体を牽引していた方々は少し年齢層が高くなっています。それを象徴する出来事として、大阪の障害者運動を中心で引っ張ってこられた中内氏が亡くなられた事にあります。障害者運動も世代交代の時代を迎えています。式典では初めに追悼の黙祷がありました。その後様々な団体の方の御祝のメッセージが贈られました。集まった方々の顔ぶれを見ると団体や法人を代表される、時代を引っ張ってきた方々でした。式典の準備をしていた若手の職員を見て、次の時代を引き継いで



（関口こ）



2月25日（火）、グループホームのなかまが集まり、ホーム交流会を開催しました。



『ホーム交流会を開催しました』

今回は初めに8月からホームに入居しているなかまの紹介から始まり、夕食後の企画は、【うたごえ大合唱】と称し、チャリティコンサート等でお世話になっている波多江正美さんをゲストにお招きして、波多江さんのギター演奏に合わせてみんなで歌を歌いました。

うたごえ大合唱では、パプリカ、ルージューの伝言、世界に一つだけの花など、事前に歌いたいとリクエストのあった歌を中心に歌集にしてまとめ、その歌集から歌いたい歌を選んで歌いました。「この曲歌いたい！」とリクエストしてくれる人や、自分の席から大声で歌う人、座って歌うだけじゃ満足できなくて真ん中まで来てマイクや大きな

もあり、それを問題と捉えるのではなくポジティブな発想に転換させるとの事でした。

人の行動が変わる事という意味で使われる行動変容の説明では、『椅子に座る』という行動を伝える時、理由なしに「座る」事を伝えるのでは混乱してしまう為「どんな目的の為に椅子に座る」のかを伝えます。人は目的の為に行動します。その際に目的は楽しい事であれば本人もとても楽しく行う事ができるという事でした。

「自分の想いが受けとめられて理解されていると感じる事が私たちの幸せであり、一人一人の好きなことや関心を大切にしたい世界を広げる」というお話から、日々の実践を振り返り大切にすべき事を再度確認できた良い機会となりました。今後も実践を通じ、その人それぞれの心の動きを大切に受け止め、楽しみや喜びが沢山持てる素敵な自分作りのプロセスに寄り添っていきましょうと思います。

声で歌う人や、歌っている人たちを指揮する人、曲に合わせて踊り出す人もいて会場は大盛り上がりでした！

前回のホーム交流会から一年ほど空いてしまいましたが、今回も楽しく過ごす事が出来ました。交流会が終わった直後から「今度はこういう事がしたい！」という声がいくつも上がりました。

今後もなかまが楽しく交流できるような企画を考えていきたいと思っています。

（波多江望）